

【119】

◇鎖国の動揺…列強のアジア進出

特に の進出への対応が中心→ 支配の強化

○田沼時代

- ・ 「 」…ロシアに関する地理書
- ・ 「 」…朝鮮・琉球・蝦夷地に関する地理書
- ・ による蝦夷地探検

○寛政の改革期

- ・ 「 」…海岸防備を説く
←幕政の批判として弾圧

・ロシアの が根室に来航
[日本からの漂流民 の送還・通商の要求]

○大御所時代

- ・ と最上徳内の 探検
→「 」の標柱を立てる
- ・幕府が東蝦夷地を直轄化
- ・ の蝦夷地測量
- ・ロシアの が長崎に来航
[通商を要求←幕府は拒否]
- ・幕府が西蝦夷地を直轄化
松前藩も直轄化… の支配下に置く
- ・イギリス船 が長崎に侵入（ ）
[敵対していたオランダ船を追って長崎に侵入
オランダ商館員を人質にし、薪水・食料を奪取]
- ・ の 探検… を発見

国後島に上陸した が日本の警備兵に捕えられる
翌年、日本人の がロシアに抑留される
ロシアは嘉兵衛を送還、日本もゴローウニンを釈放
→事件は解決、ロシアとの緊張緩和
(イギリス・アメリカ船の出没、通商の要求頻発)

- ・ ()…外国船の撃退を命じる
- ・ …オランダ商館医 を国外追放に

浦賀に来航したアメリカ船 を異国船打払令により砲撃
←知識人による批判(「 」 「 」)
幕府は渡辺崋山、高野長英を処分()

- ・ (清がイギリスに敗北)
→異国船打払令を改め、 を出す